

## アジア図書館の 蔵書目録データベース

石井美千子

本特集にちなんで、途上国研究専門図書館であるアジア経済研究所図書館の蔵書目録データベースを紹介したいと思う。

現在、学術図書館の検索においては、国立情報学研究所が運営する総合目録データベース NACSIS WebCt が広く利用されている。これは日本のほとんどの大学図書館が参加している共同データベースであり、これによって図書検索と同時に、各図書の所蔵館も把握できる。アジア図書館も一九九四年からこれに参加。所蔵図書はこのデータベースでおおよそ検索可能である（一部年刊資料類を除く）。

一方、当図書館では他の図書館と同様、独自のオンライン目録データベースを作成している（当図書館ウェブサイトで「蔵書検索」OPAC」と表示されている）。その特徴のひとつとして、地域・国コードによる検索機能があげられる。一般的に地域名や国名は件名として扱われているが、当図書館のデータベースでは地域・国コードからも検索できるように作られている。たとえば、中国に関する文献は、件名の欄に

和書なら「中国」、洋書なら「China」と入力すれば検索できるが、中国の国コード AEC を指定して検索することもできる。

カード目録時代に遡ると、当図書館では図書の内容を表す主題分類コードと地域・国コードを付与した上で、一点の図書について「著者・書名目録」、「主題目録」及び「地域目録」という三通りの目録カードを作成していた。それらは別々のカードボックスに分けてそれぞれアルファベット順、主題分類コード順、地域・国コード順に配列されていた。中でも「地域目録」は、途上国研究専門図書館としての特徴的な検索ツールとして作成されてきたもので、それが現在の目録データベースにおける地域・国コード検索の土台となっているのである。

現在の目録データベースに話を戻すと、当図書館では独自の体系的な地域・国コードを付与しているため、ある地域全体に関する文献と、その地域に属する国々を個別に扱った文献をまとめてヒットさせる包括的検索が可能になっている。たとえば、AEC というのは東アジアの地域コードだが、東アジア地域に位置する各国のコードは、中国は AEC C、韓国は AEC K というように、すべて頭に東アジアの地域コード AEC が付いているため、AEC (東アジア) で包括的検索をすれば、AEC C (中国) や AEC K (韓国) 等に関する文献もヒットする。これは図書館のデータベースとしては、あまり類例がない検索機能ではないか

と思われる。ただし、東アジアのように文献数が非常に多い地域について包括的検索をする場合、件名を組み合わせても、「経済」、「政治」など範囲が広く件数の多い件名だとヒット件数が表示可能件数（三〇〇〇件）を超えてしまうので、より細分化された件名（たとえば、「経済統合」、「民主主義」など）と組み合わせ活用していただきたいと思う。

当図書館で収集している雑誌の途上国関連の主要な記事・論文には、図書と同様の件名、地域・国コードが付与されており、同じデータベース上で図書と同様に検索が可能である。検索の際、図書、雑誌記事索引のどちらかを指定すれば、件数の絞り込みができる。

中国語、コリア語、アラビア語、タイ語等、固有の文字の図書も蔵書目録データベースで検索できる（一部年刊資料・統計書を除く）。主題件名や国名は、中国語・コリア語図書には日本語で、その他言語の図書には英語で付与してあるので、検索の際にはご留意いただきたい。勿論、地域・国コードも付与してある。ちなみに途上国の現地出版物や、固有の言語の出版物に絞って探す場合は、出版国や言語を指定できる。

なお、新聞マイクロフィルムや地図は、蔵書目録データベースとは別にデータベースを作成し、ウェブサイトに掲載している。

（いしい みちこ／アジア経済研究所図書館）